補聴援助システムの助成金申請について

1. 補聴援助システムとは

＜補聴器をつけた子どもが学校生活で困る場面＞

・教室の中や周りがうるさい時、先生の声や友達の声が聞こえにくい

　　　→騒がしいところでは、聴きたい音や声が周囲の雑音に埋もれて、聞き取りにくくなります

・離れたところにいる人の声が聞こえにくい

・音が反響するところ（例えば体育館）では、聞き取りが難しい

・小さな声は聞き取りにくい

　聞こえにくさを解決する方法の一つに『補聴援助システム』があります。

　補聴援助システムとは、マイク（送信機）で集音した声や音をFM電波やデジタル無線方式によって、直接「耳（補聴器[受信機]）」に届けるものです。これによって、周囲の雑音や騒音の影響を受けにくくなり、聴きたい声が聞きやすくなります。

（２）助成金申請について

　助成金を申請するにあたり、補聴援助システムの使用状況を記録したもの（任意様式）を添付していただく必要があります。

　助成金の対象となる補聴援助システムは、子どもが学校生活を送る上で欠かせないものであることが条件となります。授業中たまに使用する（常に必要としない）場合等は対象となりません。

　学校等での使用状況について、下記の項目に留意してご記入ください。お子さまにとって、補聴援助システムが教育を受ける上で必要と思われるかどうかについて、学校等の先生のお考えをご記入いただければ幸いです。

＜使用状況を記入する上での留意点＞

1. 記入者のお名前

（送信機を使用された先生以外の方がご記入いただく場合は、記入者のお名前だけでなく、

送信機を使用された先生に記入内容を確認していただき、その先生の署名［複数の先生が使用

された場合は代表者のみ］もお願いいたします）

1. 補聴援助システム機器名（ex. 〇〇社　送信機名・受信機名）
2. 使用した日付と1日のトータル使用時間
3. 送信機使用者（ex.　学級担任、他の児童、校長先生等）　　　　　　　　　　　③～⑥について
4. どのような場面で使用したか（ex.　国語や算数の授業、班活動、全校集会等）　数日分（4～5日程
5. 使用時のお子さまの様子、お子さまから聞き取った感想　　　　　　　　　　　度）ご記入下さい

（補聴器のみ使用している時と違いがあったか等）

1. お子さまにとって補聴援助システムが教育を受ける上で必要と考えられるか

（はい・いいえ・どちらともいえない）

1. ⑦を選択した理由

※上記使用状況について、学校等に照会させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。